

プログラマブルキーボード  
PKB-065・PKB-078・PKB-111  
(PS/2 接続)

設定マニュアル

## ★対応 OS(ユーティリティ)

Windows 2000、Windows XP

## ★使用するまでの流れ

1. プログラマブルキーボードをパソコンに接続(P1)
2. ユーティリティソフトのインストール(P2～)
3. キーボードドライバのインストール(P5～)
4. ユーティリティソフトを使用してプログラマブルキーボードのキーを設定(P9～)
5. 完了

## ★PC に接続

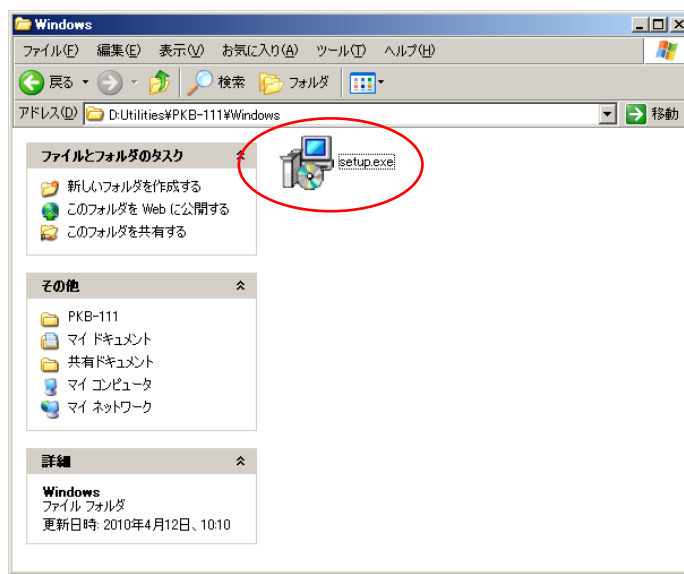
1. パソコンの電源を切ります。
2. プログラマブルキーボードの PS/2 コネクタをパソコンの PS/2 ポートに接続します。
3. 通常のキーボードをプログラマブルキーボードの PS/2 ポートに接続します。



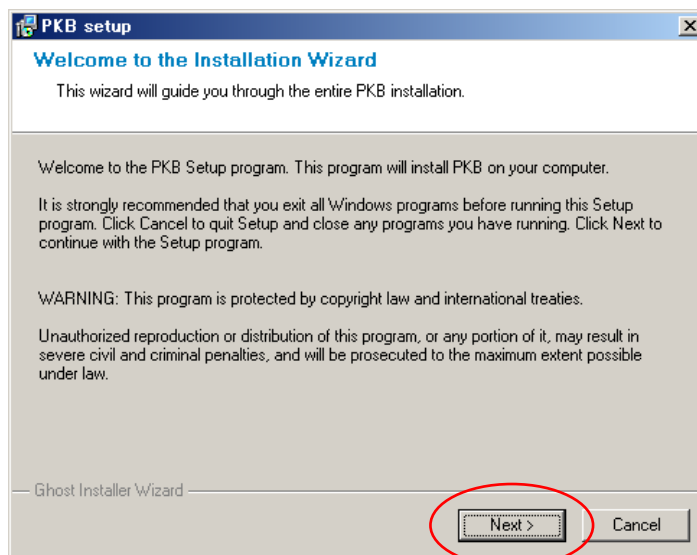
4. パソコンの電源を入れます。

## ★ユーティリティソフトのインストール

1. 同梱の CD「プログラマブルキーボード マニュアル・ユーティリティ・ドライバ」をパソコンにセットします。
2. CD 内の「PS2 接続」フォルダー→「Utilities¥PKB-\*\*\*」フォルダー→「Windows」フォルダ内の「setup.exe」をダブルクリックしますと、インストールプログラムが起動します。（「\*\*\*」は型番）



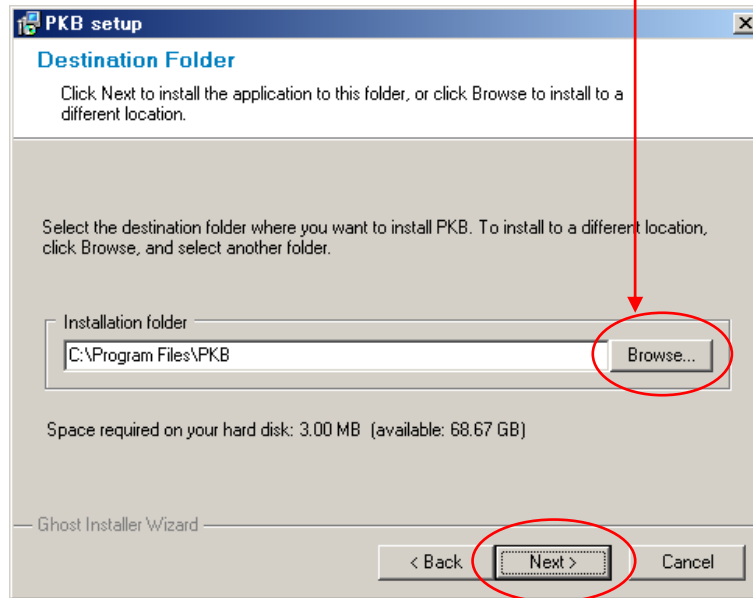
3. ユーティリティウィザード画面が表示されましたら[Next >]ボタンをクリックします。



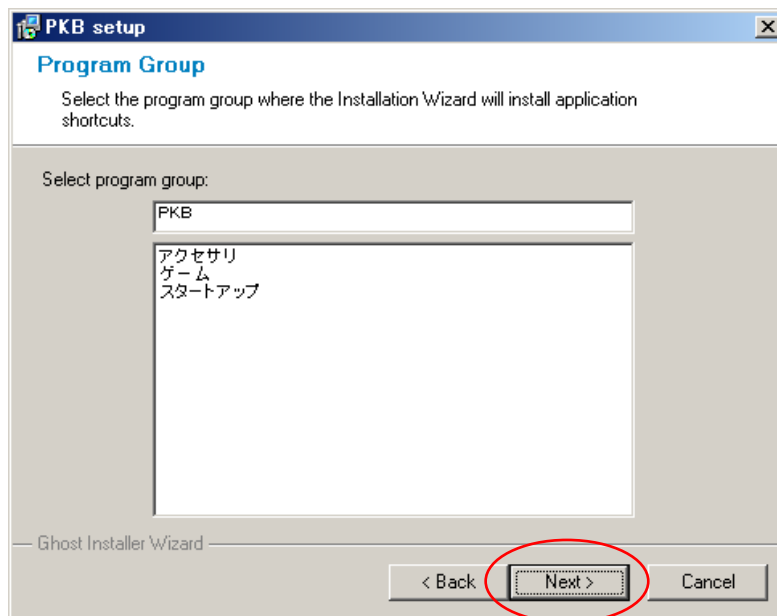
(次頁に続きます)

4. インストール先フォルダを選択します。フォルダを変更する場合は[Browse...]ボタンをクリックして変更してください。

[Next >]ボタンをクリックします。

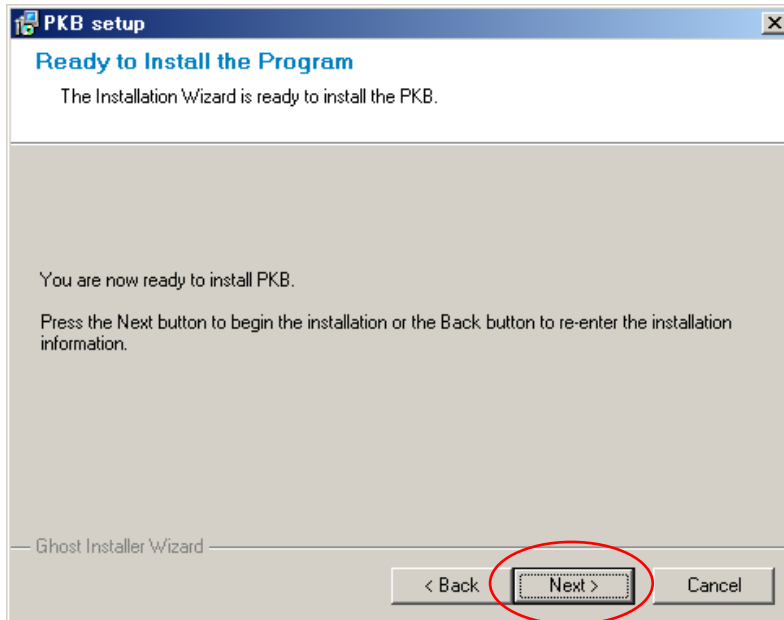


5. プログラムグループ画面が表示されましたら[Next >]ボタンをクリックします。

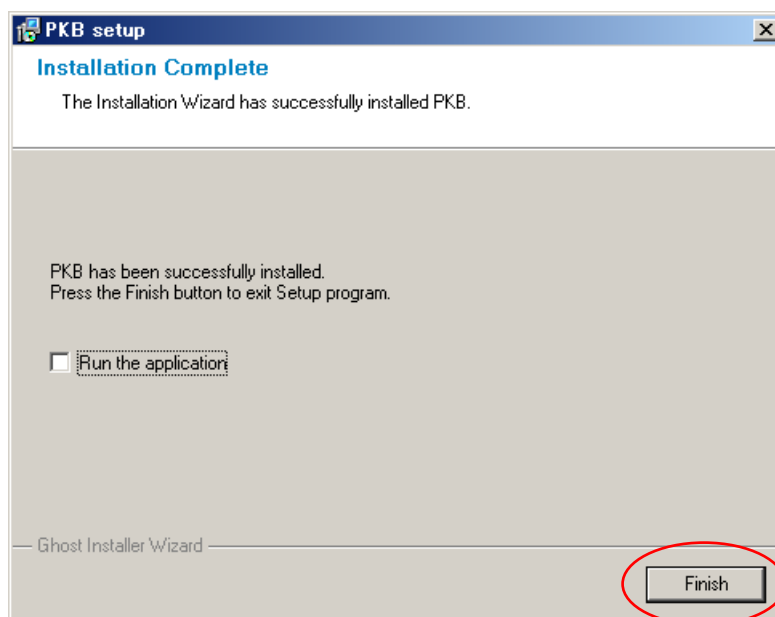


(次頁に続きます)

6. インストール開始画面が表示されましたら[Next >]ボタンをクリックします。  
インストールが開始されます。



7. インストール完了画面が表示されます。  
[Finish]ボタンをクリックしますと、画面が閉じてインストール完了です。  
[Run the application]チェックボックスにチェックをいれた後に[Finish]ボタンをクリックしますと、画面を閉じた後にユーティリティソフトが起動します。



## ★キーボードドライバのインストール方法

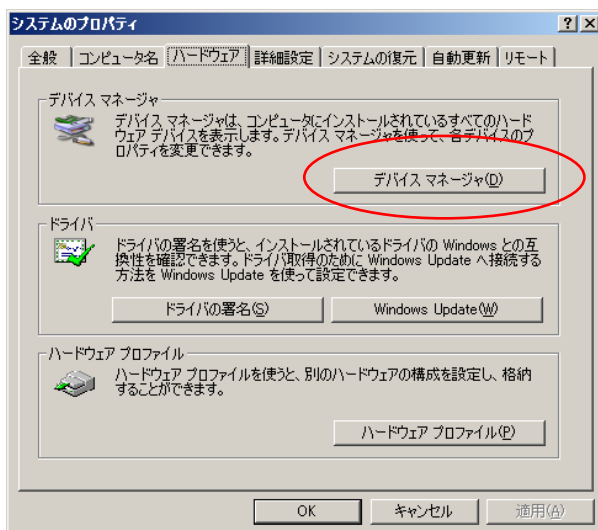
ユーティリティソフトでのキーの設定は専用のキーボードドライバで設定する必要があります。

以下の手順でインストールを行ってください。

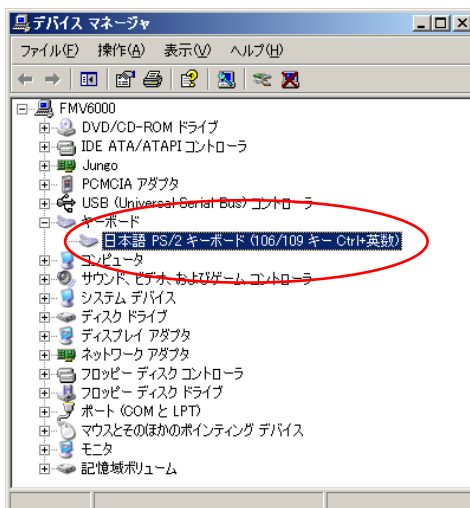
(プログラマブルキーボードと通常のキーボードはすでに接続されていると仮定します)

1. 「マイコンピュータ」を右クリックでポップアップメニューを表示。「プロパティ」より「システムのプロパティ」画面を開きます。

[ハードウェア]タブ内の「デバイスマネージャ」をクリックします。

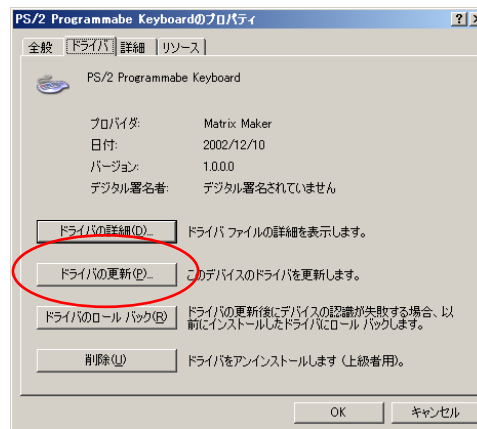


2. 「キーボード」の中にある、通常使用しているキーボードをダブルクリックします。

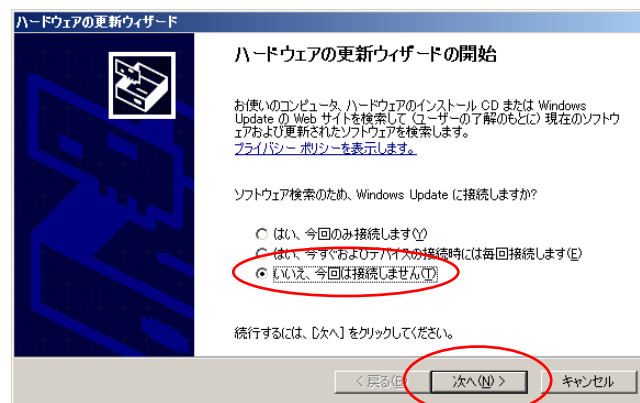


(次頁に続きます)

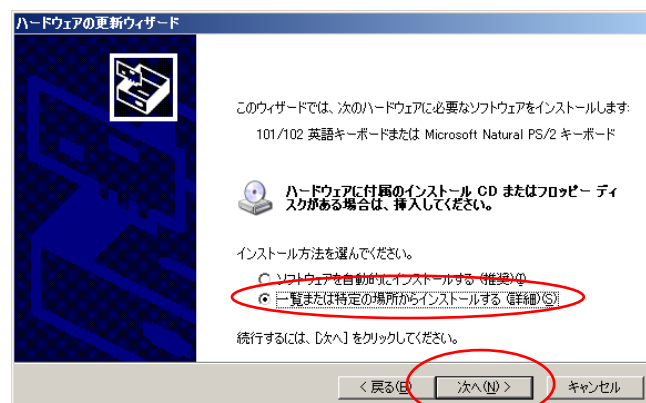
3. [ドライバ]タブ内の[ドライバの更新]ボタンをクリックします。



4. 「ハードウェアの更新ウィザード」画面が表示されます。  
[いいえ、今回は接続しません]を選択して[次へ]ボタンをクリックします。



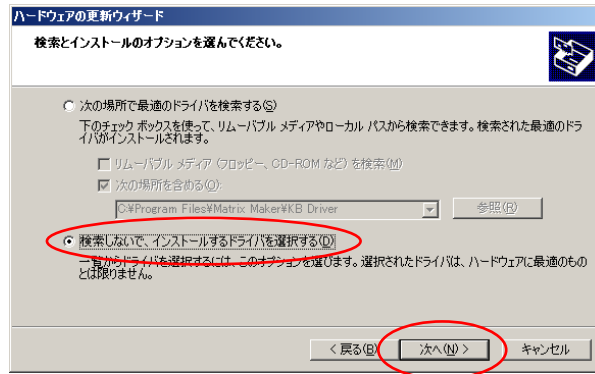
5. 「インストール方法」画面が表示されます。  
[一覧または特定の場所からインストールする]を選択して[次へ]ボタンをクリックします。



(次頁に続きます)

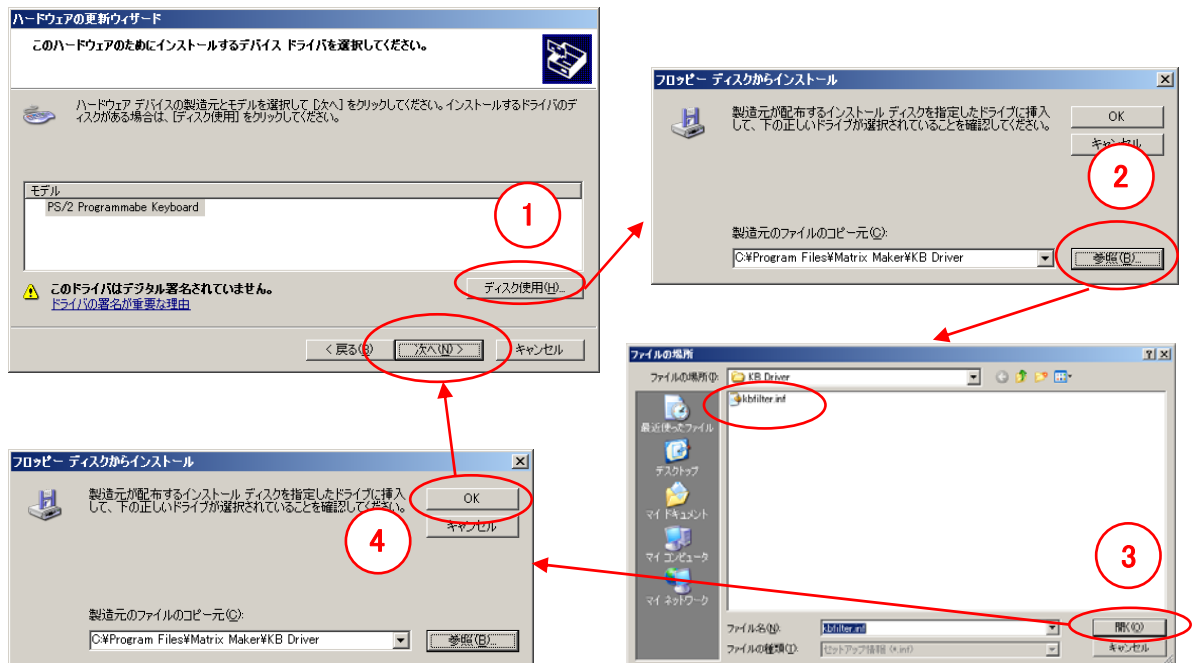
6. 「検索とインストールのオプション」画面が表示されます。

[検索しないで、インストールドライバを選択する]を選択して[次へ]ボタンをクリックします。



7. 「インストールするデバイスドライバの選択」画面が表示されます。

[ディスク使用]ボタンをクリックしますと「フロッピーディスクからインストール」画面が表示されますので、[参照]ボタンをクリックします。「ファイルを開く」ダイアログボックスが表示されます。「C ドライブ」→「Program Files」→「Matrix Maker」→「KB Driver」→「kbfilter.inf」を選択して開くボタンをクリックします。※バージョンによっては「C ドライブ」→「Program Files」→「PKB」→「KB Driver」→「kbfilter.inf」となる。「フロッピーディスクからインストール」画面に戻りますので[OK]ボタンをクリックします。「インストールするデバイスドライバの選択」画面に戻りますので[次へ]ボタンをクリックします。



8. ドライバがインストールされて完了です。

※インストールの途中で「ドライバの互換性が確認できない」等の警告が表示されましたら[OK]ボタンをクリックします。

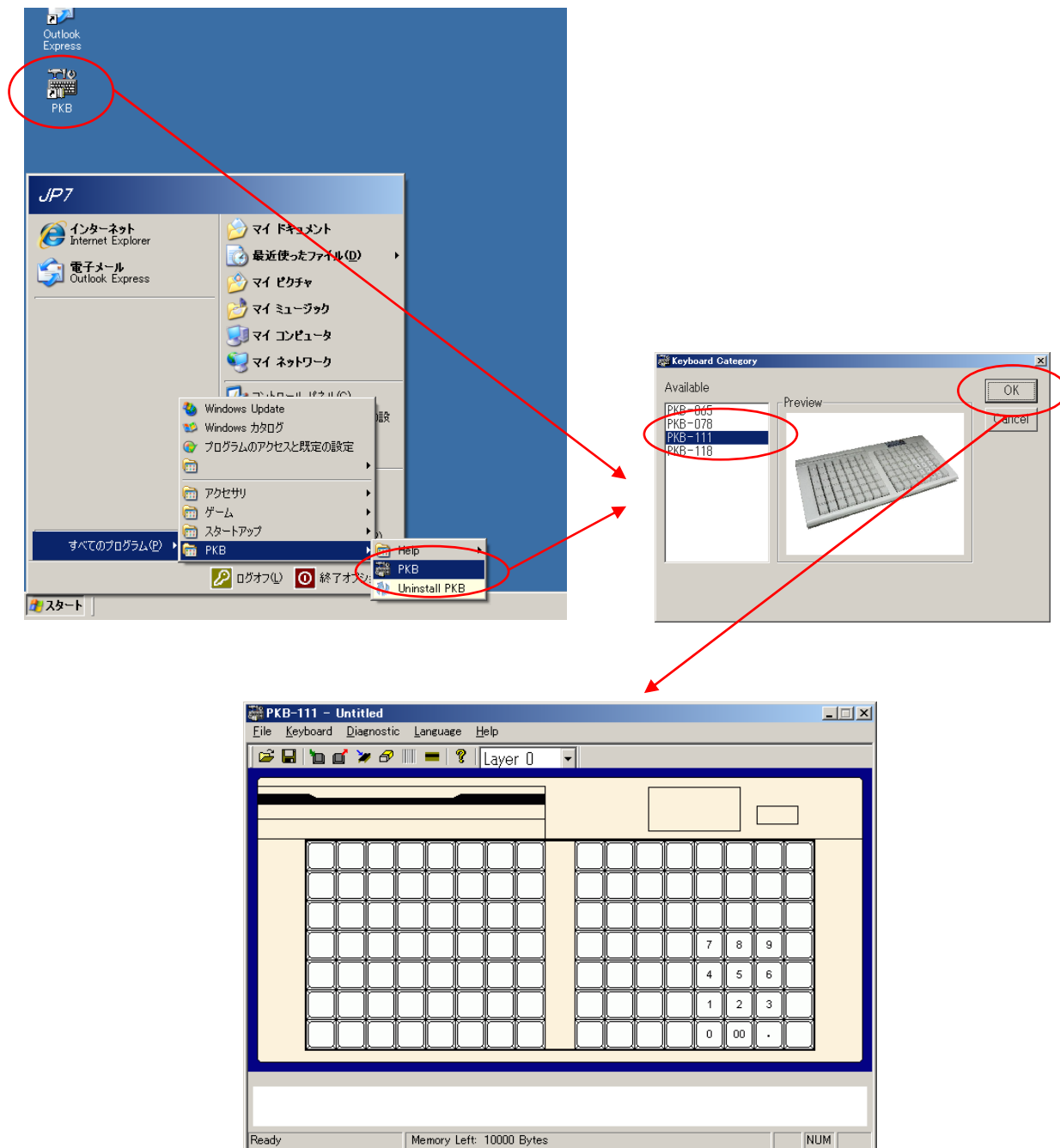


## ★プログラマブルキーボード設定ユーティリティ起動方法

デスクトップの[PKB]のショートカットのアイコンから起動するか、[スタート]→[すべてのプログラム]→[PKB]より起動します。

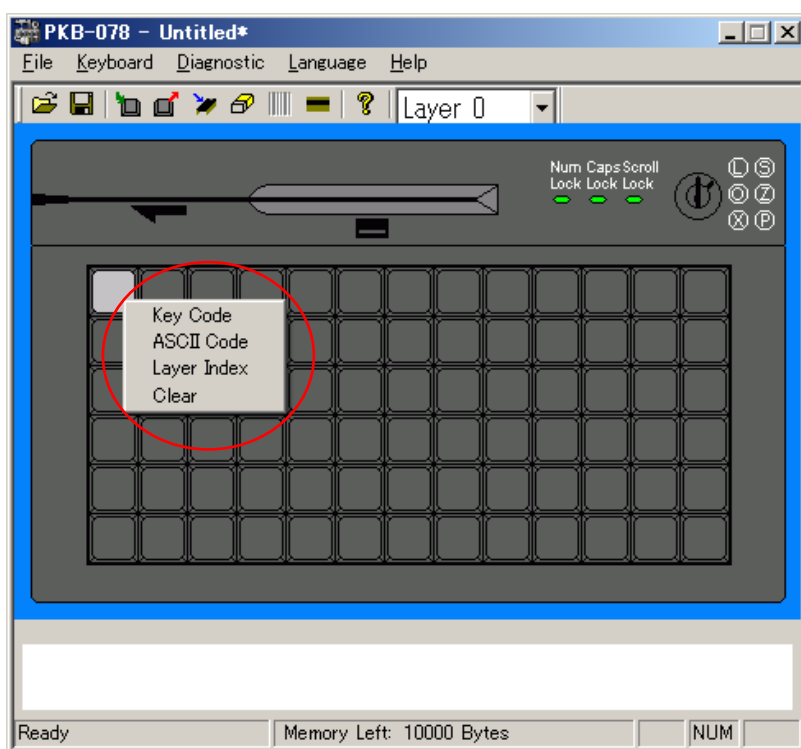
プログラマブルキーボード種類の選択画面が表示されますので、お使いのプログラマブルキーボードを選択して[OK]ボタンをクリックします。

ユーティリティソフトが起動します。



## ★操作方法(コード割り当て、レイヤー)

1. マウスイカーソルが移動しますと、ユーティリティ内キーボード画像のキーの色が反転します。色が反転しているキーに対して編集が可能です。  
クリックしますとポップアップメニューが表示されます。  
キーに割り当てるコードの設定方法は「Key Code」と「ASCII Code」の2種類あります。  
「Layer Index」はレイヤーの呼び出し用キーに設定されます。レイヤーは0~15(16個)設定可能です。  
「Clear」はキーに割り当てられたコードをクリアする場合に選択します。

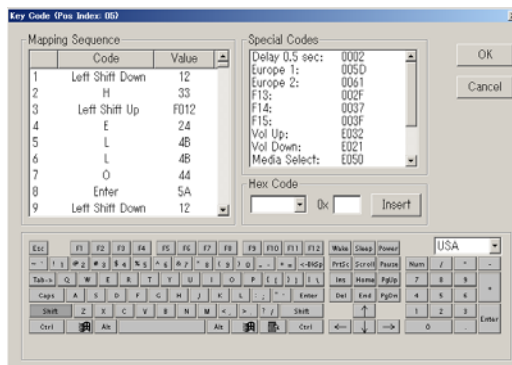


※レイヤーとは、階層という意味です。1つのキーに16パターンのコードが設定でき、必要に応じてパターンを切り替えて入力コードを切り替えます。

(次頁に続きます)

## 1-1.Key Code

この設定方法は、キーボードボタンが表示され画像より割り当てるキーを選択します。  
通常のキーボードのキーを押下することで割り当てることもできます。  
また、「Special Codes」という特殊なキーや、「Hex Code」で 16 進数を入力することでキーボードのキー以外のキーを割り当てできます。  
ポップアップメニューより「Key Code」を選択しますと、「Key Code 割り当て」画面が表示されます。  
キー単位で最大 256 のコードまで設定できます。



キーボードボタンにてキーをクリックしますとコード追加セルにコードが追加されます。

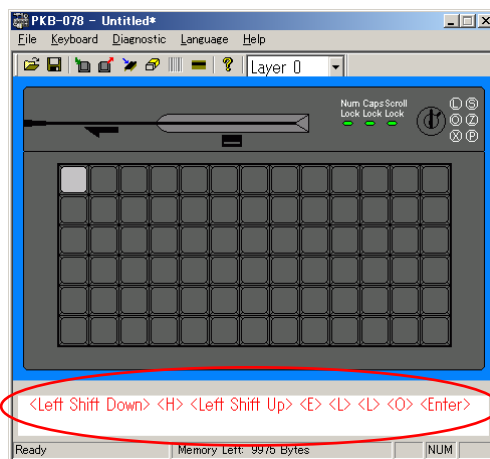
### 設定例

「Hello」改行「World」を設定

キーボードボタンにて

「Shift」、「H」、「Shift」、「E」、「L」、「L」、「O」、「Enter」、「Shift」、「W」、「Shift」、「O」、「R」、「L」、「D」の順番に押してください

[OK]ボタンをクリックしますと設定内容が反映されます。



全て設定を行った後にプログラマブルキーボードにアップデートします。  
アップデート方法は P15「キーボードのアップデート」を参照してください。

(次頁に続きます)

## ※ 注意

「Caps Lock」はキーボードでオンになっている場合は、プログラマブルキーボードで「Caps Lock」のコードが付加されたキーを入力すると「Caps Lock」が解除されます。「Scroll Lock」、「Num Lock」も同様です。

「Shift」のコードを追加すると「Shift」が押された状態になり、もう一度「Shift」のコードを追加することにより「Shift」が離された状態になります。「Alt」、「Ctrl」も同様です。

**「Shift」・「Alt」・「Ctrl」を追加した場合は、必ず離された状態のキー「○○ Up」も追加してください。離された状態のキー「○○ Up」を追加しなかった場合は押下状態のままになりますので注意してください。**

コードを削除する場合は、[Mapping Sequence]内のセルを選択して右クリックしますとポップアップメニューが表示されます。[Delete]をクリックしますと選択されたセルのコードが削除されます。[Clear All]をクリックしますと全てのコードが削除されます。

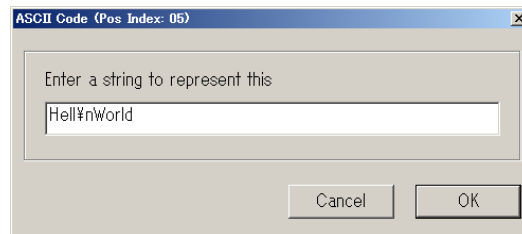
## 1-2.ASCII Code

この設定方法は、アスキーコードを直接キーボードにて入力を行います。  
すなわち、A～Z、a～z、0～9、+、-、その他記号になります。  
キー単位で最大 256 のコードまで設定できます。  
また、以下の表現で特別なシンボルのコードを割り当てることができます。

シンボル	表現
「Enter」キャラクタ	[¥n]もしくは[¥N]
「Esc」キャラクタ	[¥e]もしくは[¥E]
「Tab」キャラクタ	[¥t]もしくは[¥T]
「¥」キャラクタ	[¥¥]
0.5 秒遅れ	[¥d]もしくは[¥D]

(次頁に続きます)

ポップアップメニューより「ASCII Code」を選択しますと、「ASCII Code」入力画面が表示されます。

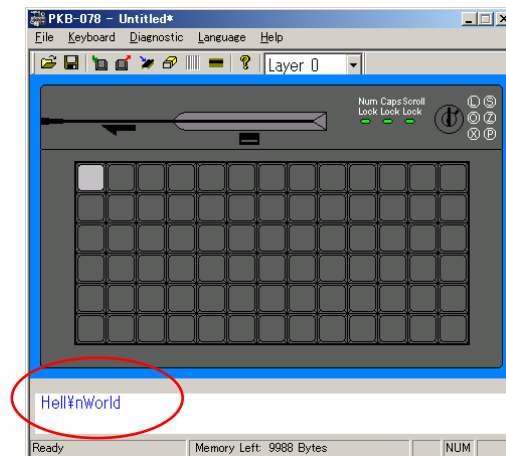


### 設定例

「Hello」改行「World」を設定

「Hello¥nWorld」と入力

入力を行い「OK」ボタンをクリックしますと設定内容が反映されます。



全て設定を行った後にプログラマブルキーボードにアップデートします。  
アップデート方法は P15「キーボードのアップデート」を参照してください。

### ※ 注意

「Caps Lock」はオフの状態を入力してください。アルファベットの大きい文字入力は「Shift」を押しながら入力してください。「Caps Lock」をオンで入力されたデータはプログラマブルキーボードにアップデートしても出力されません。

「最大 256」のコードというのは上記の特別なシンボルの場合、表現した文字数となります。  
(例えば「¥n」は 2 文字使用)

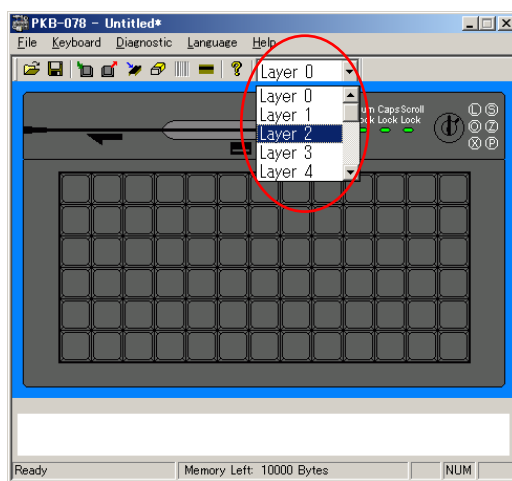
### 1-3.Layer Index

カテゴリによってプログラマブルキーボードでレイヤーを 16 個まで作成できます。

例えば、レイヤーインデックス 2 のキーにコードを設定する場合は、ユーティリティ起動画面のレイヤー選択コンボボックスより[Layer 2] を選択してください。その後「Key Code」もしくは「ASCII Code」にてコードの設定を行ってください。

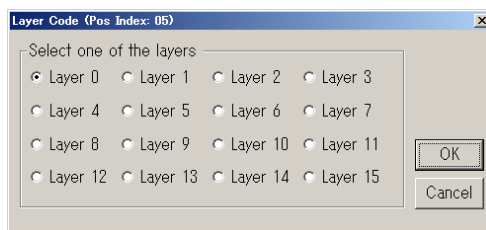
レイヤーを設定されたキーは、そのキー押している間レイヤーが切り替わり違うキーが入力されます。

※レイヤーとは、階層という意味です。1つのキーに16パターンのコードが設定でき、必要に応じてパターンを切り替えて入力コードを切り替えます。



レイヤーを使用する場合は、プログラマブルキーボードにレイヤー変更用のキーを設定する必要があります。

ポップアップメニューより「Layer Index」を選択しますと、「Layer Code」入力画面が表示されます。



[Select one of the layers]より切り替えたいレイヤーを選択します。

#### ※ 注意

レイヤー変更用キーはすべてのレイヤーで占拠されますので、同じキーにコードの設定はできません。

(次頁に続きます)

PKB-078 は鍵穴が付いております。鍵穴にレイヤー変更用キーを設定することができます。鍵は 3 種類あり、鍵穴の回転可能な範囲が違いますので、使用者によって入力データの制限をかけることができます。

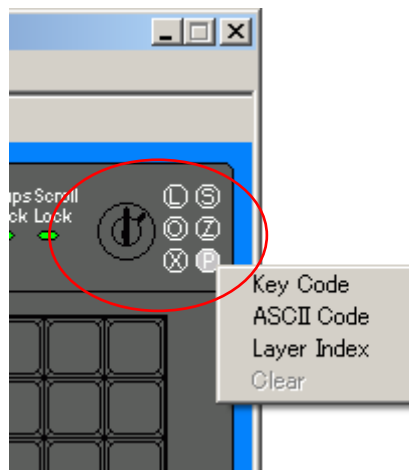


以下に鍵 3 種類の切り替え可能範囲を説明します。

プログラマーキーボード鍵穴の切り替え範囲(○ = 切り替え可能 × = 切り替え不可能)

鍵の刻印文字 切り替え項目	PRG	S	OP
Lock	○	○	○
OP	○	○	○
X	○	○	×
S	○	○	×
Z	○	×	×
PRG	○	×	×

下図のように鍵穴に設定ができます。




## ★操作方法(基本設定)

ここでは起動画面のメニューバー、ツールバーの操作方法の説明をします。

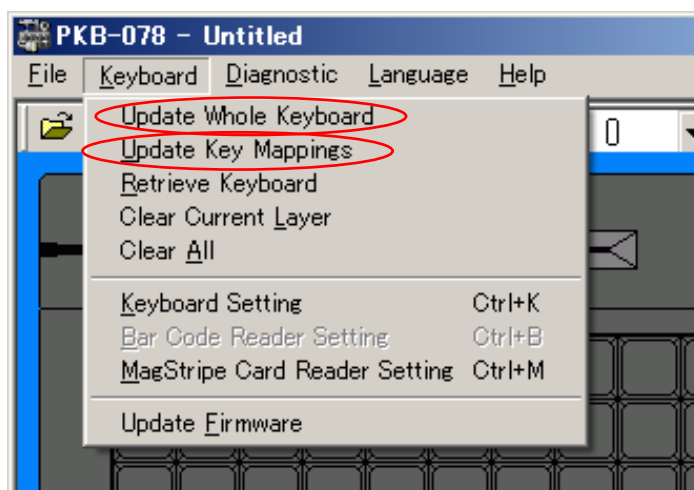
### 1. キーボードのアップデート

キーにコードを割り当てた後に、プログラマブルキーボードの設定を更新します。

メニューバー[Keyboard]→[Update Key Mappings]をクリックするか、ツールバーの  アイコンをクリックします。クリックするとプログラマブルキーボードに書き込みを行います。

完了しますと完了確認のメッセージが表示されますので[OK]ボタンをクリックします。

メニューバー[Keyboard]→[Update Whole Keyboard]をクリックしますと、[Keyboard Setting]で設定された内容も一緒にアップデートします。



### ※ 注意

更新中はプログラマブルキーボードのキーは押さないでください！

また、「Open device fail!」と出て、アップデートができない場合があります。

その場合は、プログラマブルキーボードがパソコンに接続されているか確認してください。接続されていなかった場合は、一度パソコンの電源を切り、プログラマブルキーボードを接続し、電源を入れてアップデートを行ってください。

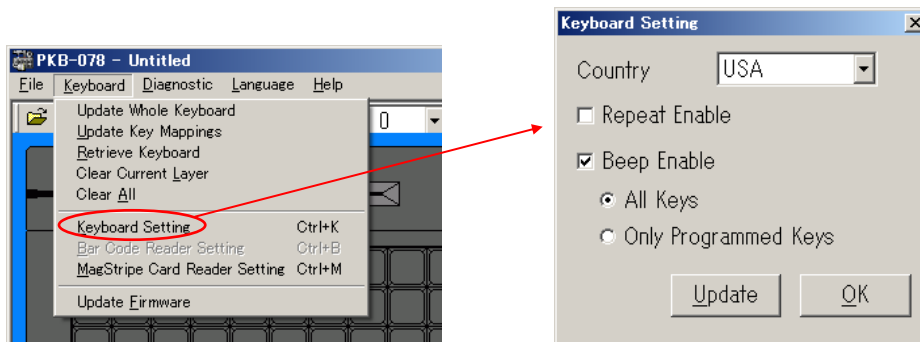
それでも「Open device fail!」と出た場合は、キーボードドライバがインストールされていない可能性があります。P5 を参考にインストールしてください。



## 2. キーボード設定

プログラマブルキーボードのビープ音等動作の設定となります。

メニューバー[Keyboard]→[Keyboard Setting]をクリックするとキーボード設定画面が表示されます。



### [Repeat Enable]

チェックを入れますと、キーを押されている間は連続で設定されたコードが入力されます。

### [Beep Enable]

チェックを入れますと、キーを押された時にビープ音が鳴ります。また、2種類の設定があります。

#### [All Keys]

全てのキーでビープ音が鳴ります。

#### [Only Programmed Keys]

コードが割り当てられているキーのみビープ音が鳴ります。

### [Update]

[Update]ボタンをクリックしますと、設定値がプログラマブルキーボードに書き込まれます。完了しますと完了確認メッセージが表示されますので[OK]ボタンをクリックします。

#### ※ 注意

更新中はプログラマブルキーボードのキーは押さないでください！

また、「Open device fail!」と出て、アップデートができない場合があります。

その場合は、プログラマブルキーボードがパソコンに接続されているか確認してください。

接続されていなかった場合は、一度パソコンの電源を切り、プログラマブルキーボードを接続し、電源を入れてアップデートを行ってください。

それでも「Open device fail!」と出た場合は、キーボードドライバがインストールされていない可能性があります。P5を参考にインストールしてください。

### [OK]

[OK]ボタンをクリックしますと、画面を閉じます。


#### ※ 注意

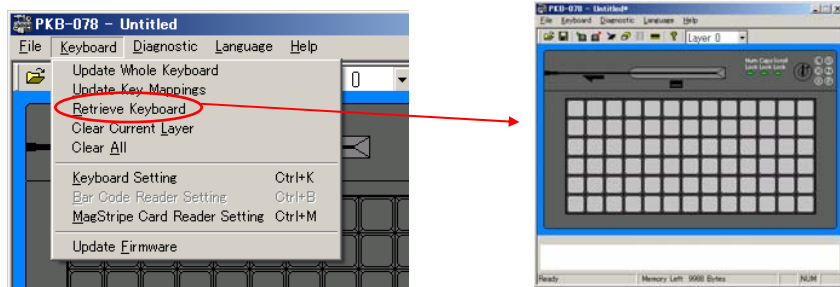
もし、[Repeat Enable]が選択されていて、例えばプログラマブルキーボードの鍵の「Lock」位置に「Hello」が割り当てられているとします。鍵が「Lock」の位置に切り替えられた時、「Hello」は連続で入力されてしまう可能性があります。また、ビープ音を有効にしていた場合は連続で鳴ってしまう可能性があります。

鍵にはレイヤー変更用キーを設定することをお勧めします。

### 3. キーの取得

プログラマブルキーボードに設定されているキーの内容を取得します。

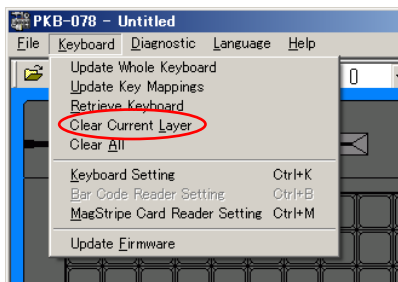
メニューバー[Keyboard]→[Retrieve Keyboard]をクリックするか、ツールバーの  アイコンをクリックします。設定されているキーの内容を取得し画面のキーボードに反映されます。



### 4. カレントレイヤークリア

ユーティリティで選択されているレイヤーの内容を消去します。これはプログラマブルキーボードには反映されません。


メニューバー[Keyboard]→[Clear Current Layer]をクリックすると、コンボボックスにて選択されているレイヤーの内容をクリアします。

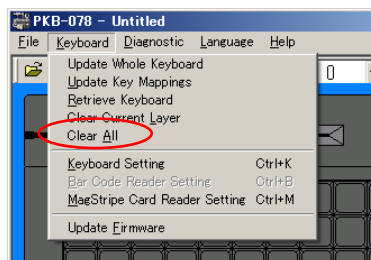


※ レイヤー変更キーを設定している場合は、Layer 0 以外でカレントレイヤークリアしてプログラマブルキーボードにアップデートしてもレイヤー変更キーはクリアされません。Layer0 をコンボボックスより選択してレイヤー変更キーをクリアしてください。

### 5. 全てクリア


ユーティリティで、すべてのレイヤーの内容を消去します。これはプログラマブルキーボードには反映されません。

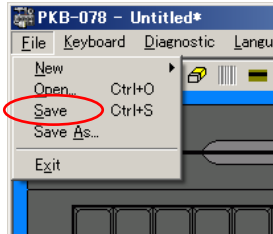
メニューバー[Keyboard]→[Clear All]をクリックするか、ツールバーの  アイコンをクリックすると、すべてのレイヤーの内容をクリアします。



## 6. 保存

編集した内容をファイルとして保存します。


メニューバー[File]→[Save]をクリックするか、ツールバーの  アイコンをクリックしますと、保存ダイアログボックスが表示され、ファイルとして編集した内容が保存されます。

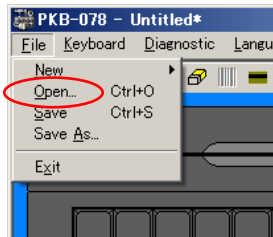


※[Save As]も同様の動作をします。

## 7. 開く

保存されているフ設定ファイルを開きます。

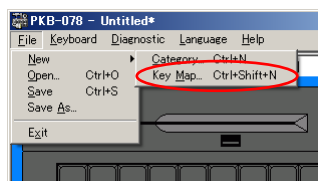
メニューバー[File]→[Open]をクリックするか、ツールバーの  アイコンをクリックしますと、ファイルを開くダイアログボックスが表示され、設定ファイルを開くことができます。



## 8. 新規作成

新規でキー設定を行います。

メニューバー[File]→[New]→[Key Map]をクリックしますと、新規で作成が可能になります。



## 9. 終了

ユーティリティを終了します。

メニューバー[File]→[Exit]をクリックしますと、プログラムが終了します。




10. その他のメニューバー、ツールバー（基本的には使用しません）

[New]→[Category]

違う種類のプログラマブルキーボードの設定用の画面に切り替わります。

[Magstripe Card Reader Setting]、アイコン

オプションの磁気カードリーダーの設定をします。（※取り扱っておりません）

[Update Firmware]、アイコン

プログラマブルキーボードのファームウェアを書き換えます。

[Enter Test Mode]

キーが正常に動作しているかテストを行います。終了時には[Exit Test Mode]をクリックします。

[Exit Test Mode]

[Enter Test Mode]を終了します。

[Reset]


動作しません。

[Firmware Version]

プログラマブルキーボードのファームウェアのバージョンを表示します。

[User Manual]

英語版のマニュアルが表示されます。

[About PKB]、アイコン

ユーティリティのバージョンを表示します。